

南田中小学校



南田中図書館



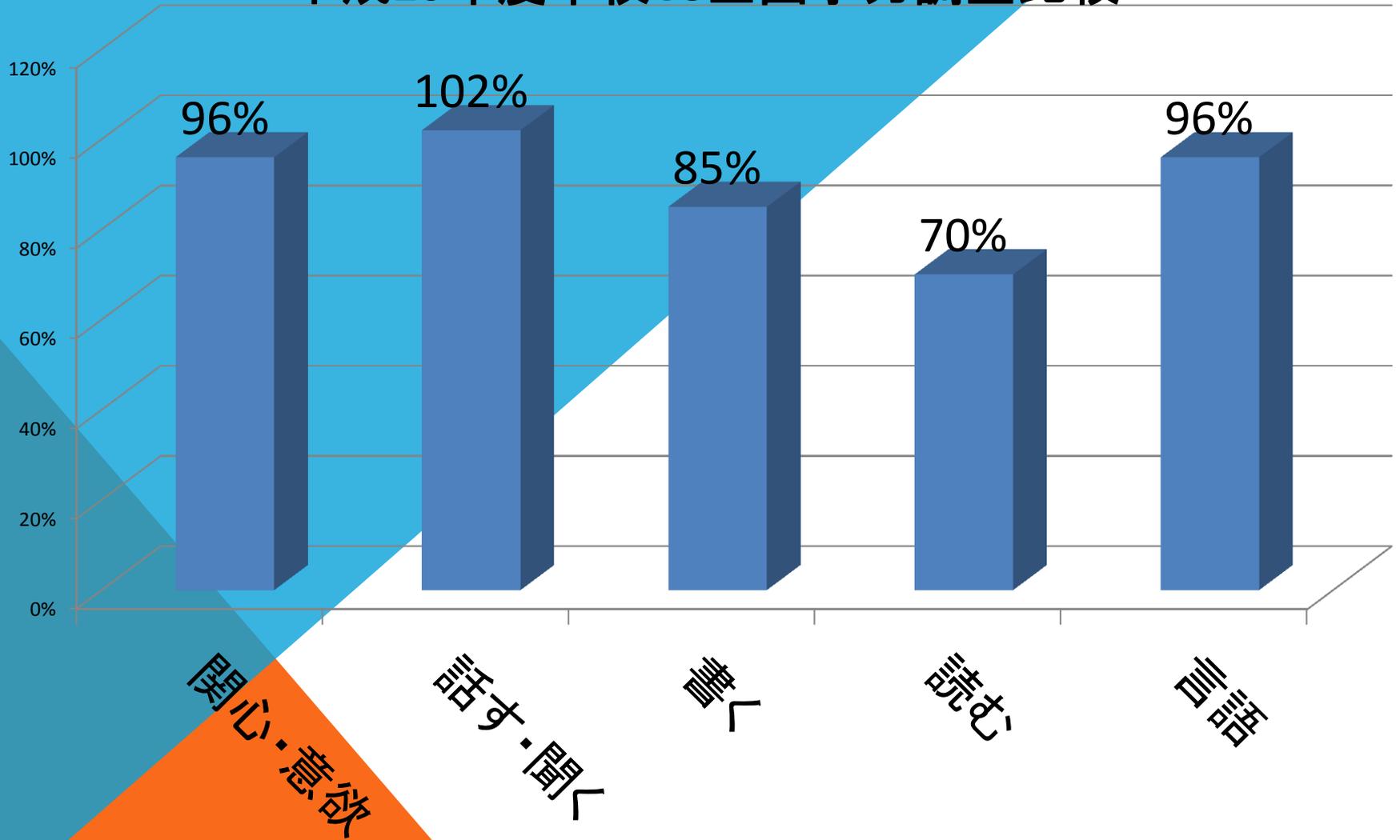
研究主題

「読むことを」を大切にし、
自分の考えを表現できる子の育成

～練馬区立南田中図書館と連携した教育活動の推進～

研究の成果（学力調査）

平成20年度本校VS全国学力調査比較



関心・意欲

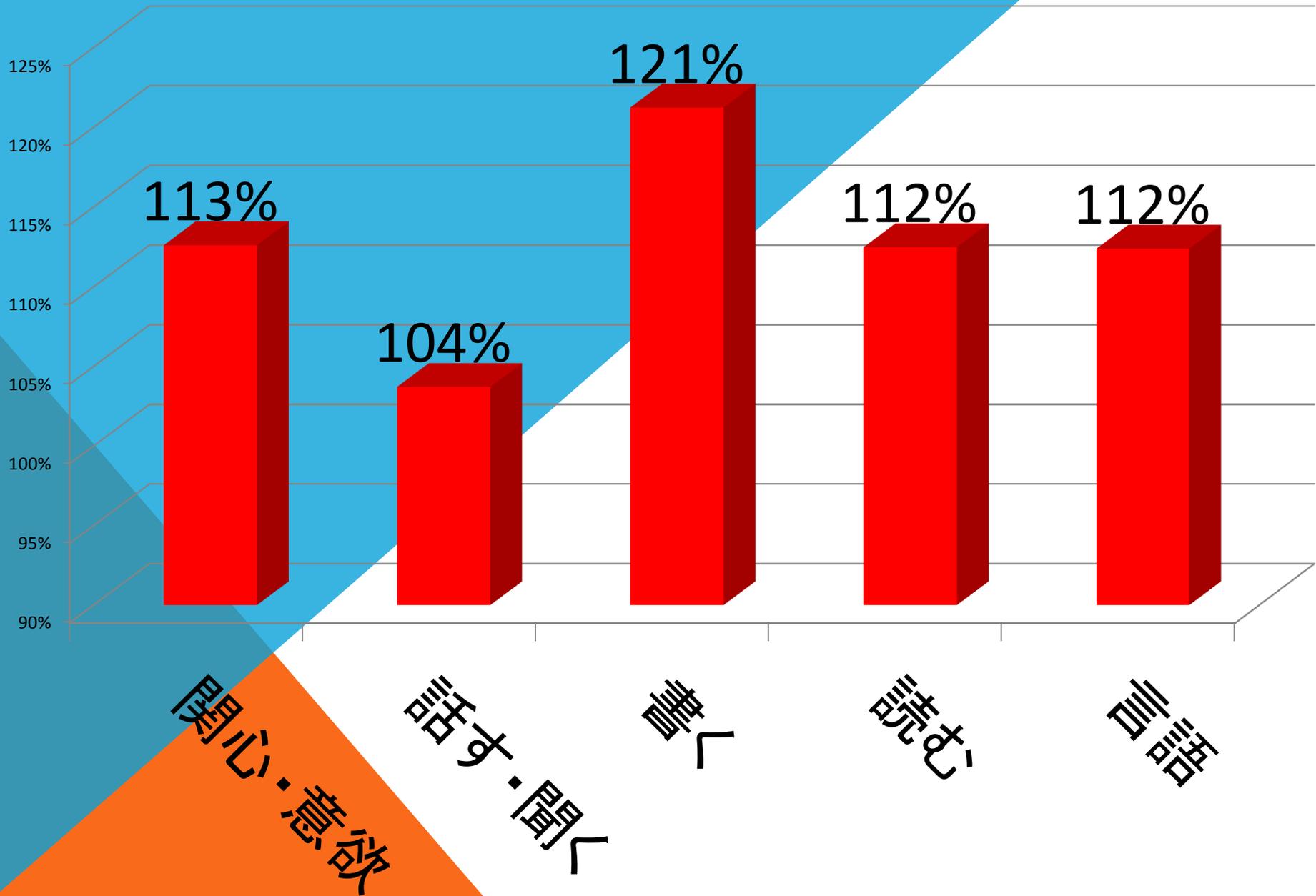
話す・聞く

書く

読む

算数

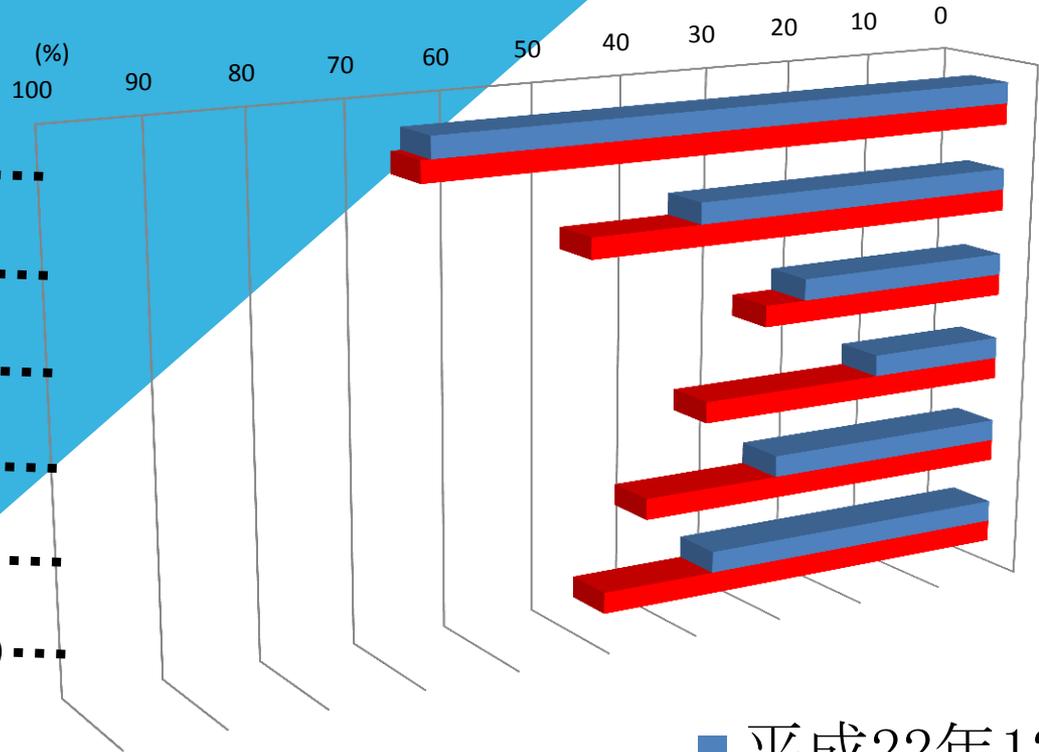
平成23年度練馬区学力調査における本校vs全国比較



研究の成果（実態調査）

児童の感じる主な変容

- (ア) 本を読むの…
- (イ) 本を読む勉…
- (ウ) 絵や文に書…
- (エ) 発表したく…
- (オ) 読んだ感想…
- (カ) お話以外の…



■ 平成22年12月
■ 平成23年7月

Ⅱ 研究内容

「読むことを大切にすること」 と 表現力の育成

～単元を貫く言語活動と関連付けて～

南田中モデル（国語）

一 早元の学習の基における
図書館利用

- <第1次>
読み聞かせ、ブックトーク等
- <第2次>
並行読み、比べ読み等
- <第3次>
児童によるブックトーク等
児童による読み聞かせ等

身に付けさせたい力

毎時の言語活動例

- ・紹介を聞いて、本を読む。
- ・物語を読んで、登場人物に手紙を書く。
- ・読み取ったことを話して演じる。
- ・物語を読み、自分と比べて感想文を書く。
- ・視覚に沿って読み、紹介したいことを書く。
- ・読み取ったことについて意見や感想を交換する。
- ・ポスターを作って、本の紹介をする。
- ・気持ちや様子が転めるよこぎ読する。
- ・サイドラインを引き、自分の考えを書きこむ。

読む力を付けるための指導

- ・正しい読み取らせるための書読や国語辞典の活用
- ・キーワードから文章構成をとりえさせる。
- ・事実や感想、意見などの関係を押さえて読ませる。
- ・目的に応じて、言葉や文章を引用したり要約したりさせる。
- ・視覚を基に、読んで考えたことを交換し、自分の考えを明確にさせる。
- ・目的に応じて、読む視点を決め、読み進ませる。

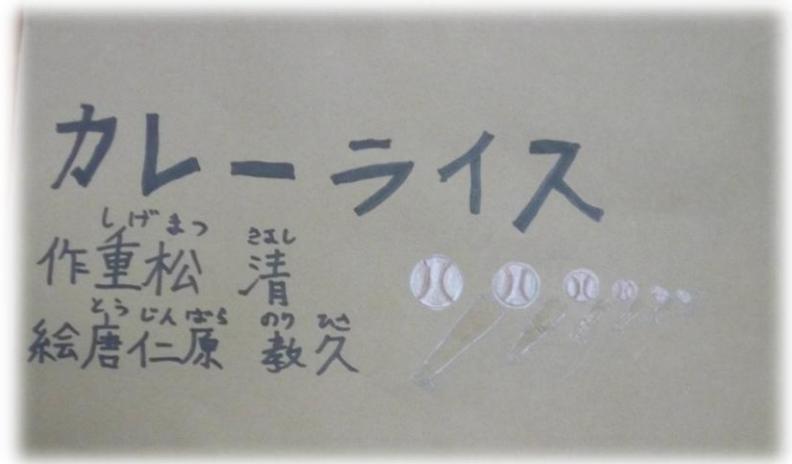
単元を貫く言語活動

表現力を付ける指導

- ・目的や相手意識をしつかりもたせて表現させる。
- ・語彙を増やすため、教科書以外の資料や国語辞典を活用させたり、聴いた発音や挿入や語などに表現するために発音に関する言葉を集めたりさせる。
- ・インタビューの仕方やアンケートの作りかたなど、目的に応じた取材の仕方を指導する。
- ・取材したことを目的に応じて整理する方法を指導する。
- ・報告文、説明文などの文章構成の仕方を指導する。
- ・紹介文や感想文など文章構成の仕方を指導する。
- ・友達と読み合ったり表現の仕方について交換させたり、自分で読み進めさせたりして指導させる。

6年生 カレーライス

「叙述を基にして登場人物の
心情や相互関係を把握する力」



「単元を貫く言語活動」を設定した単元構成

第6学年 「カレーライス」 (光村図書6年上)の例

①単元の目標

**<身に付けさせたい力>
叙述を基にして登場人物の
心情や相互関係を把握する力**

③各時間の言語活動

一人読みと交流

②単元を貫く言語活動

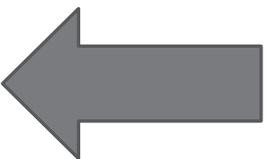
場面の様子から登場人物の
心情と関係を読み取り、交
流しよう

第1時から第7時



一単位時間の学習の流れ

自分の考えをもつ（読み）



交流（表現）



考えの再構築

自分の考えをもつ（読み）



交流（表現）

感想

発表

音読

動作化

川柳

など



考えの再構築



本校の表現のとらえ方について

(ア) 相手意識をもった表現

(イ) 自分の考えや感じたことを
まとめるための表現



2012/1/31

(ア) 相手意識をもった表現

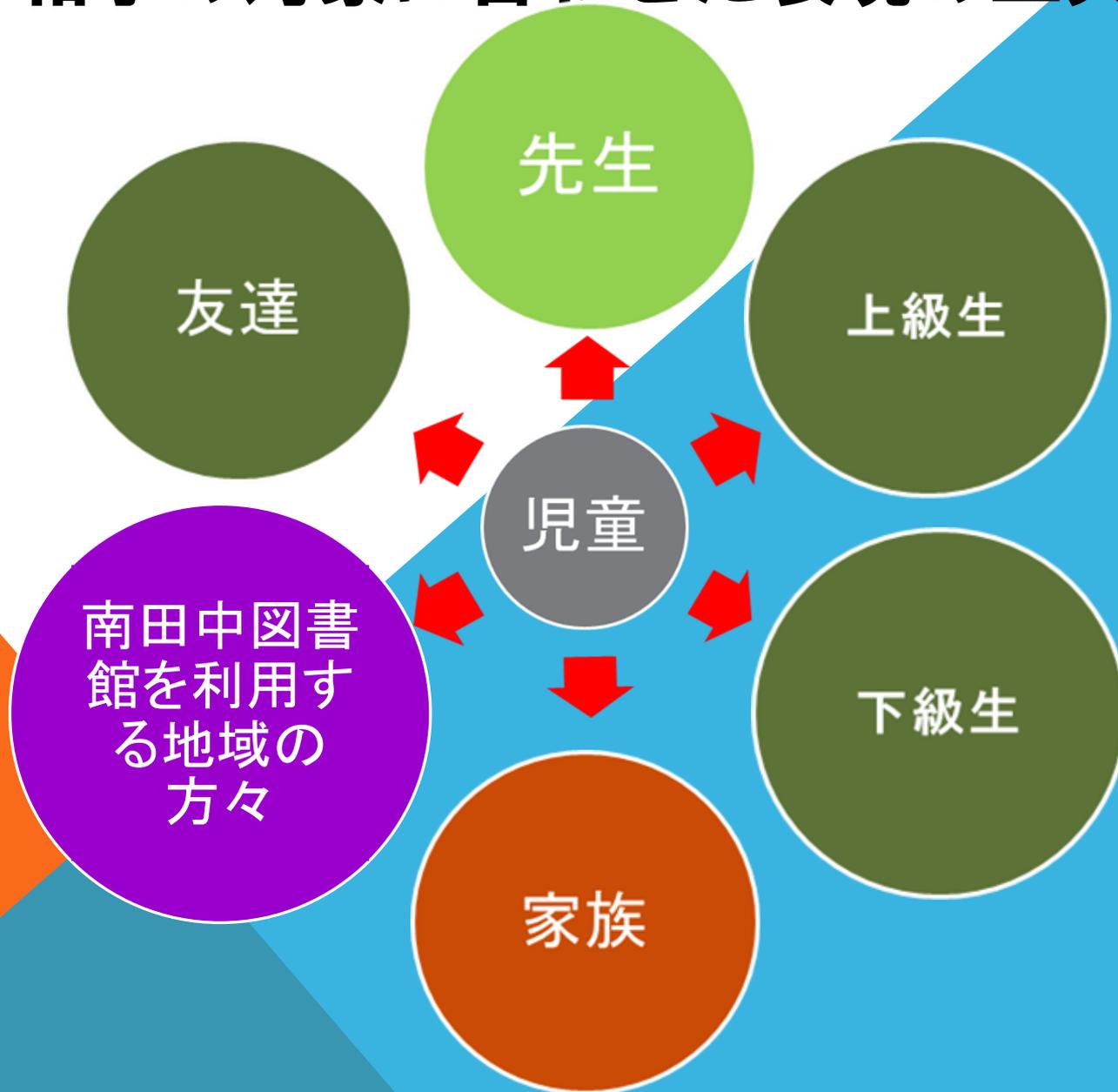
私の選んだ詩
五年二組

しゅくだい 五年木
夜しゅくだいを思い出し
算数のしゅくだいや
いやいやながらやる
ねむくなった
エネルギーは
もうちょっとしかない
数字がおどります
はっと思っ
ほったをひねった
「いたい！」
と思ったら
数字がきちんとせいとんした

この詩を選んだ理由
これは、小学生が作った
詩で、夜に宿題を思い出し
たしゅくだいことが共感で
きたので、選びました。
そして、数字がおどりだ
す、「数字がきちんとせい
いとんした」などの表現
がおもしろいなあと思っ
て選びました。これを、五年
生が作ったと思っとうと、
感心しました。私も夜
中こんな感じなので、こ
の詩を選びました。

相手を意識
した選択理
由の記述

相手の対象に合わせた表現の工夫



国語科における 学校図書館・区立図書館の活用

南田中モデル【図書】

学校図書館・区立南田中図書館との連携



南田中モデル【学校図書館・区立南田中図書館との連携】

学校図書館支援員

練馬区立 南田中図書館

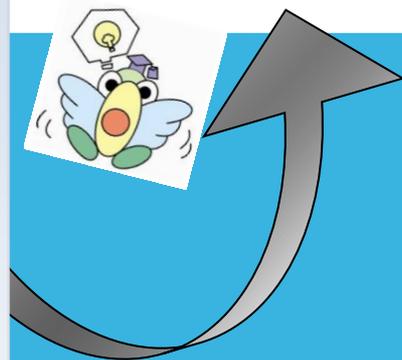


学校図書館



南田中小学校

読書を支える日常の活動



単元における図書館利用

第1次	第2次	第3次
<ul style="list-style-type: none">・読み聞かせ・ブックトーク・ストーリーテリング・本の紹介	<ul style="list-style-type: none">・並行読み・比べ読み・調べ読み・読み聞かせ・ブックトーク・本の紹介・劇	<ul style="list-style-type: none">・読み広げ（同じ作者の他の作品、同じテーマの他の作品、シリーズ作品）・児童による読み聞かせ・音読発表会・児童によるブックトーク・児童によるストーリーテリング・児童による本の紹介・ポップ作り

第1次における図書館利用



担任と学校図書館支援員による読み聞かせ
学校図書館支援員による本の紹介

第3次における図書館利用



同じ作者の他の作品の紹介のブックトーク

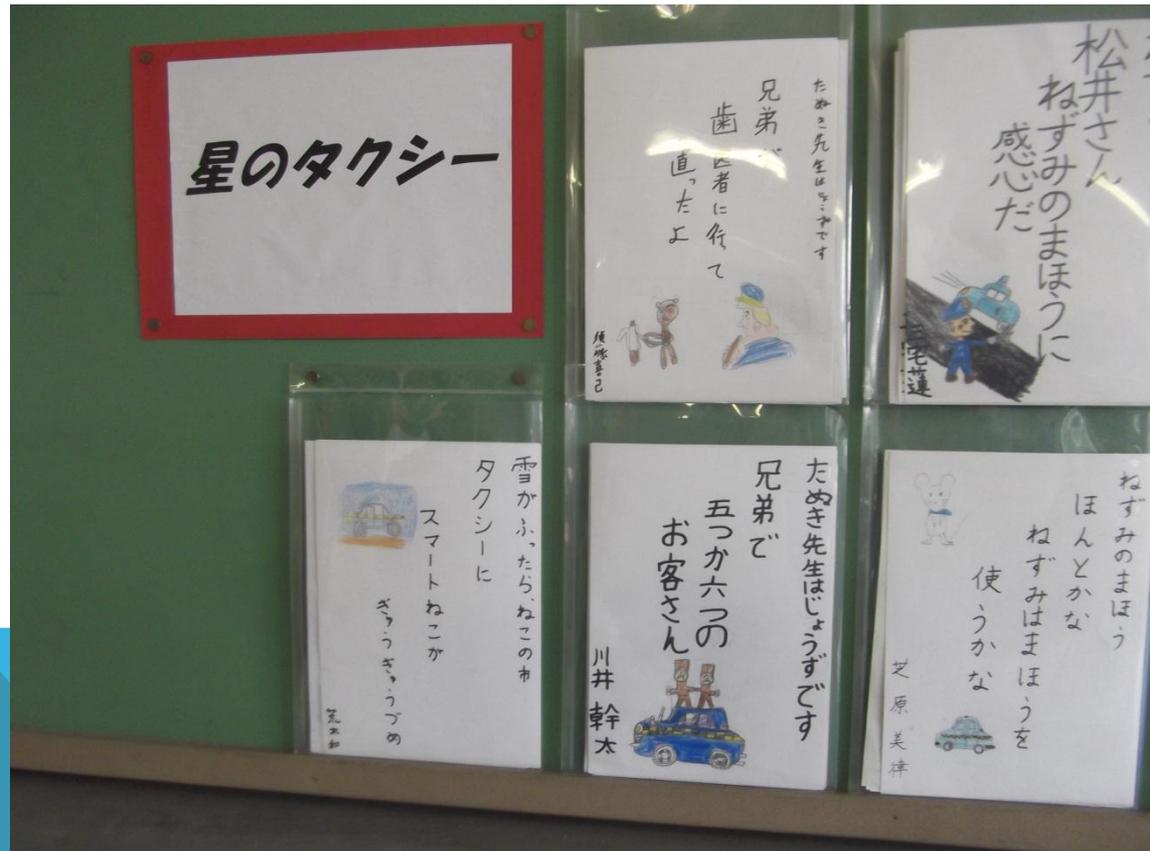
第4学年「白いぼうし」 第2次における図書館利用

1. 並行読書の本教材の読みに活かす ための手立て

副読本としての活用



友人の読書意欲を喚起するための 川柳づくり



2. 文学教材の学習における並行読書の有用性



中心人物の性格や人柄を、複数の叙述から読み取り、確定する

松井さんは、お客が誰だろうと特に気にしない人だから、女の子がとつぜん車に乗っていても降ろそうとはしない。『ぼうしねこはほんとねこ』で・・・。



松井さんは、子供や町のことをお好きな人。相手が子供でもきちんと相手をして、『お客と小さなお客さん』では・・・。



作品のもつ雰囲気や世界観をとらえ、 教材の読みに活かす

白いぼうしは空想への入り口になっている。これは、他の話でもそう。題名になっているものやお客と松井さんが出会ったとき、ふしぎなことが起こる場合が多い。

夢ではない。『車のいろは空のいろ』の世界では、動物がしゃべったり、人間のような生活をしていたりするから、ちょうが人間に化けてもおかしくない。

比べ読みで作品の共通点・相違点を明らかにし、読みを深める

松井さんは、
細い裏通りに
入れるほど、運
転が上手い！

・・・ということは、
経験豊富なのか。

それなら、経験豊
富ではないね。運
転の才能があった
のかもしれない。

いや、他の話で、
タクシー運転手
になって三年目
と書いてあった。

読書を支える環境作り



みなみたなか “本” ターネット



おすすめの本コーナー



楽しい企画満載！～学校図書館～



夏と秋の読書旬間



お話にのって世界一周



南田中図書館の発表・展示



地域・保護者との連携



今後の課題

- ① 単元を貫く言語活動の工夫
- ② 目的に応じた読み方の指導の改善
- ③ 系統的な表現の指導
- ④ 図書資料の教材研究